中学理科 A (化学・物理) の授業シラバス

教科	科目名等	学年	履修形態	実授業数	教科書	副教材など
理科	化学 物理	2年	必修	60	未来へひろがるサイエンス 2年3年 啓林館	iワーク 育伸社

* 全クラス共通で実施

1 学習目標

年間学習目標	<p>化学的な事物・現象についての観察・実験を行い、観察・実験技能を習得させ、観察・実験の結果を考察して自らの考えを導き出し、表現する能力を育てるとともに、化学変化と原子・分子、物質と化学反応の利用などについて理解させる。</p> <p>物質やエネルギーに関する事物・現象を調べる活動を通して、日常生活と関連づけて総合的に考える態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようになる。</p>
--------	---

2 授業進度

	1学期	2学期	3学期
学習内容	1 化学変化と原子・分子 ・物質の変化 ・物質どうしの化学変化	1 運動と力 ・物体の運動 ・運動と力 2 エネルギー ・いろいろなエネルギー	1 エネルギー ・化学変化とエネルギー 2 科学技術と人間 ・エネルギー資源の利用 ・科学技術の進歩と人間生活

* なお、状況に応じて、若干の変更を行うことがある。

3 評価の対象と基準

評価対象・方法	知識・技能	定期考査(配点の約40%) 小テスト 宿題テスト等	評価基準	知識・技能	学期 A B C 学年 A B C	総合評価・評定の算出	・観点別評価を基に、各学期10段階で総合評価 ・各学期評価に基づいて年度末5段階評定 ・観点別の配分比率は次の通り 知識等：思考等： 主体的態度 = 4 : 4 : 2
	思考・判断・表現	定期考査(配点の約40%) 小テスト 宿題テスト等		思考・判断・表現	学期 A B C 学年 A B C		
	主体的学習態度	課題 実験レポート ノート等		主体的学習態度	学期 A B C 学年 A B C		

* 紙幅の関係上、観点別目標、学習範囲の個々の事例については省略・略記している。

* 評価・評定は理科 A (化学・物理) と理科 B (生物・地学) を総合して判断する。